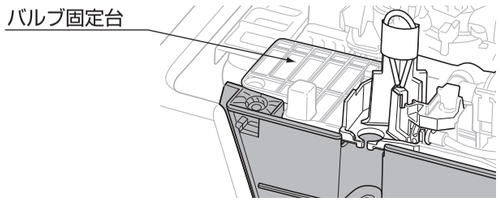
施工業者様へ

必ず実行

この注意書は特に注意が必要な箇所を抜粋しております。
詳しくは施工説明書をよくお読みいただき、施工説明書の内容に沿って正しく施工してください。

便器を排水ソケットに取り付ける前に、水ためリング（白）を取り付ける。

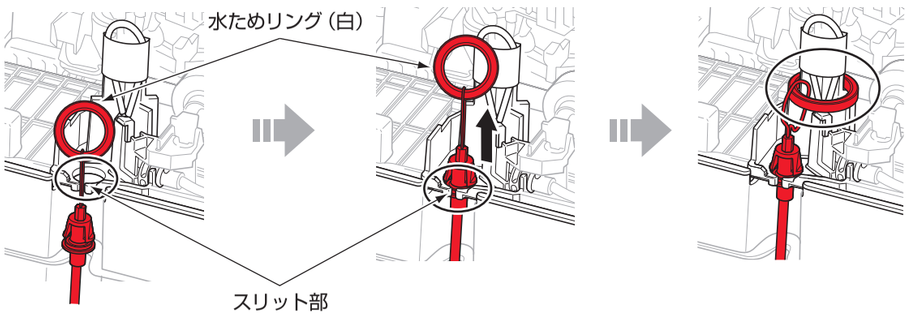
取り付けないと、停電時に便器洗浄ができなくなります。

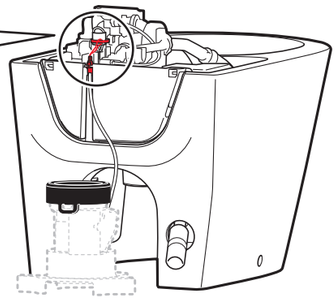


❶バルブ固定台のスリット部に水ためリング（白）の紐を通す。

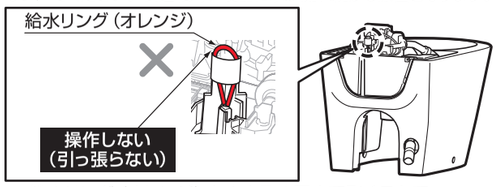
❷水ためリング（白）を引張りフック部を固定する。

❸水ためリング（白）をバルブ固定台に引っかける。





●停電時に使用する洗浄用のリングです。施工時は操作しない（引っ張らない）でください。試運転時、便器に水が流れ続ける原因となります。



給水リング（オレンジ）を止まる位置まで引くことで、便器に水を「流す」と「止める」を切り替えています。

※施工説明書の『水ためリング（白）の取り付け』をご確認ください。

施工説明書は裏面をご参照ください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

H0B445N
2026.9
（メーカー管理用です。）

TOTO

床置 床排水大便器

施工説明書

B/BH

安全に関するご注意 ・・・・・・・・・・・・・・ 2
取り付け前のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・ 2
同梱部品の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
給水位置の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
施工手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
取付方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
施工業者様へ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

■工事内容に応じて指定のページをご参照ください。

◆「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

施工情報を見る

関連商品の動画・説明書

https://search.toto.jp/contents/sekou/neorest.htm

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

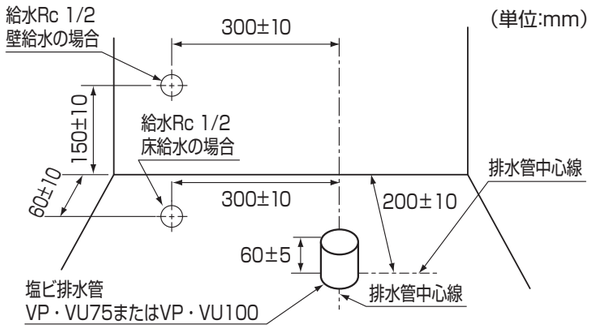
🛇	**してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。**	❗	**必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。**

⚠注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止	**便器に強い力や衝撃を与えない** 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす、火災が発生して家財などを燃やすなど、財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないと水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	浴室など湿気の多い場所に設置しない 火災、感電、発熱、ショートの原因になります。
必ず実行	**設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する** 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

取り付け前のご注意



（単位:mm）

注意 給水管は床面・壁面に対して0+5/-8 mm以内で立ち上げてください。止水栓カバーが傾いたり浮いたりして、取り付かないおそれがあります。

※寒冷地（水抜き方式）の場合、床給水のみとなります。

⚠注意

❗ 必ず実行

排水管の立ち上げ寸法が55 mm未満の場合は、立ち上げ用アダプターHH01001R(オプション)を使用する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

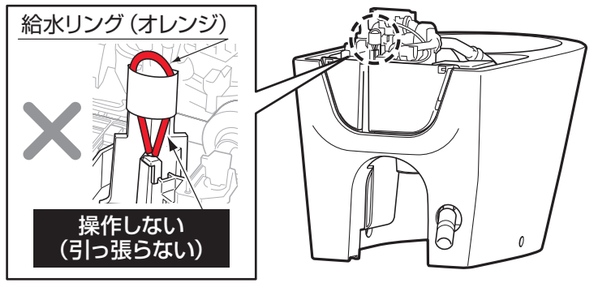
動画を見る

立ち上げ用アダプター施工手順
https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/move/setkanagu.htm

- ●便器を防火区画貫通部より1 m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署に確認いただき、その指示に従ってください。
- ●施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）は、陶器と接触しないようご注意ください。金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- ●取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- ●室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から 150 mm 以上の空間を確保してください。（壁が変色する原因となります）
- ●後ろ壁に床面から高さ 1400 mm 以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。（棚、収納キャビネットは下端 FL+1400 mm以上を目安としてください）
- ●施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。所定の位置にない場合、商品が正しく取り付かないことがあります。
- ●電源は交流 100 V (50/60 Hz)、定格消費電力は機種によって異なりますのでウォシュレット本体のラベルをご確認ください。
- ●便器（ヒーター付の場合）：電源コードの長さは、約 1.1 mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- ●給水圧力は最低必要水圧 (流動時)0.05 MPa(10 L/ 分)、最高水圧 (静止時)0.75 MPa です。この圧力範囲でご使用ください。
- ●商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- ●ヒーター付き便器（水抜き方式の場合）は、給水ホースの水抜き勾配を確保できるように取り付けてください。
- ●商品セット図は、専用カタログをご確認ください。
- ●排水管が床面と同一でカットされている場合は、60 mm 立ち上げ用アダプター (HH01001R) をご購入ください。
- ●給水管が床面・壁面から 8 mm 以上埋没する場合は、市販の持ち出しソケットなどを使用し、所定の立ち上げ位置に調整してください。
- ●取付面がコンクリート、モルタルの場合は、樹脂プラグ「HH04060（Φ8、10 個 1 組）」を別途手配してください。

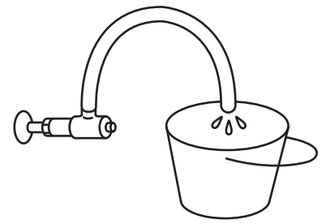
取り付け前のご注意

●停電時に使用する洗浄用のリングです。施工時は操作しない（引っ張らない）でください。試運転時、便器に水が流れ続ける原因となります。

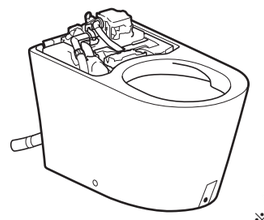
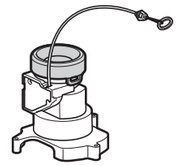


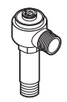
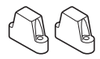
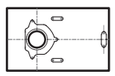
給水リング（オレンジ）を止まる位置まで引くことで、便器に水を「流す」と「止める」を切り替えています。

●商品を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。



同梱部品の確認 ※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器本体	排水ソケット	固定金具類
 便器ヒーター用プラグ ※ヒーター付便器の場合	 排水ソケット（1個）	木ねじ(便器用)（φ 5.8×75：2本） 木ねじ(排水ソケット用)（φ 5×50:3本） 化粧キャップ（2個）

給水金具	固定片	その他
 止水栓（1個） **注意** 便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。 止水栓カバー（1個） カバー（1個）	固定片（1個）  便器用固定片（2個） 接着ブロック（1個） 木ねじ（φ 5×50：4本） 木ねじ（φ 5×40:2本）	施工説明書（1部） 説明書（1部）  位置決めシート（1部）

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

給水位置の確認

⚠注意

禁止

給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源コンセントを接触させない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。

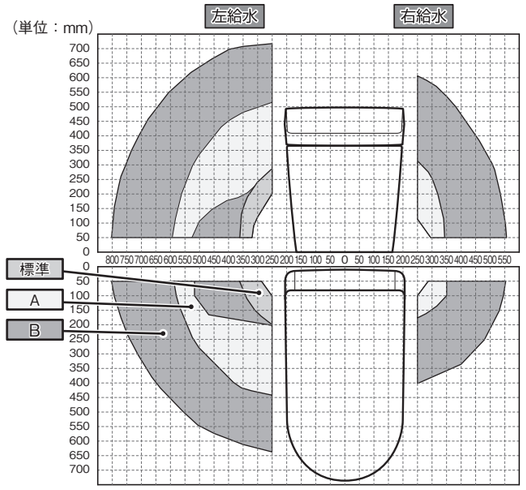
⚠注意

必ず実行

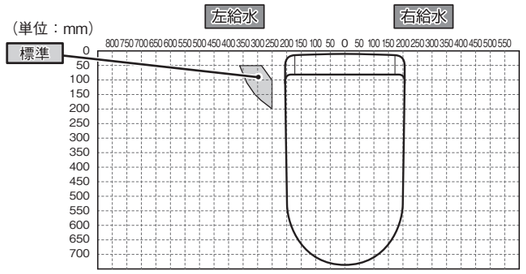
ヒーター付便器、水抜き併用方式をお使いのお客様は、ホース内の水抜きができるような勾配を確保して取り付ける
水が抜けずに凍結し、通水できないおそれがあります。

止水栓取付位置	給水ホース品番	給水ホース長さ	止水栓取付範囲(右図参照)
標準	ー	ー	標準給水ホースでの止水栓取付範囲
A	HM912	250mm	Aの給水ホースでの止水栓取付範囲
B	HM913	450mm	Bの給水ホースでの止水栓取付範囲

●給水ホースの到達範囲を示したものです。ホース長さ、給水位置によってはホースが大きくたるむ場合があります。
●止水栓取付位置A,Bについては、HM912,HM913を別途手配し、標準給水ホースに接続して取り付けてください。



寒冷地・水抜き仕様の場合



※寒冷地仕様の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
また、給水ホースHM912,HM913は使用しないでください。ホース内部の凍結のおそれがあります。
※給水ホースが折れないように接続方向を調整してください。
給水ホースが折れると水が流れなくなったり、水漏れするおそれがあります。

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。
（　　は本紙、□ はウォシュレットの施工説明書をご参照ください）

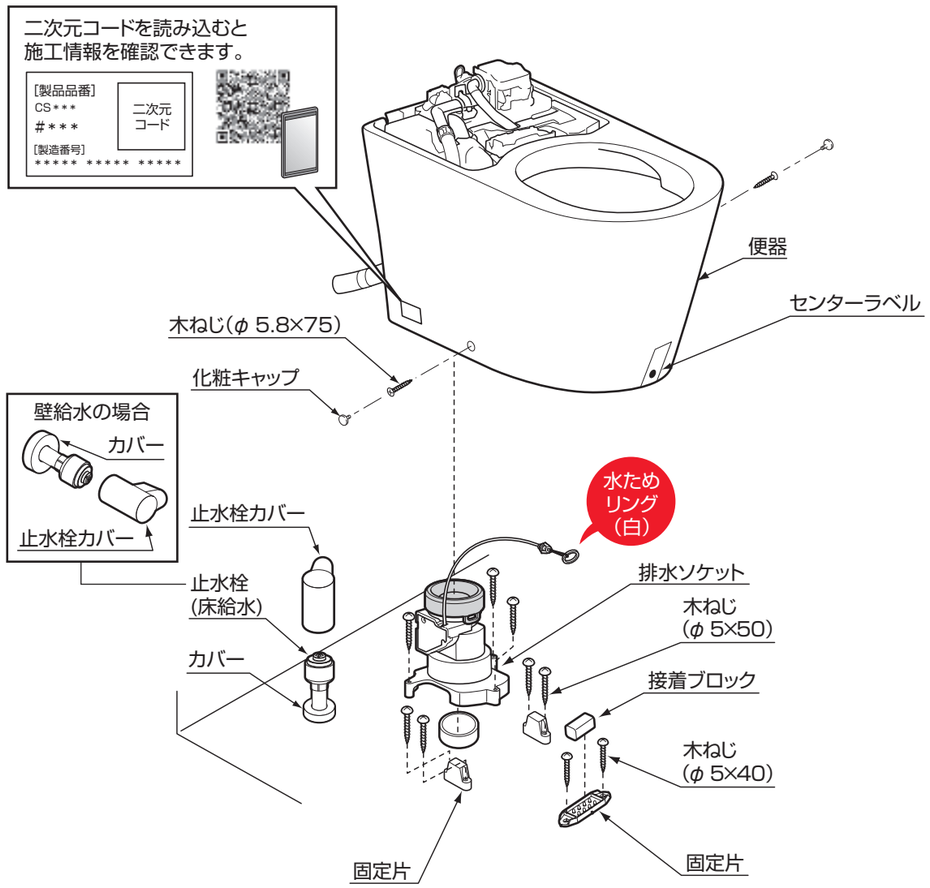
【便器の施工手順】
1. 排水管の立ち上げ
2. 止水栓の取り付け
3. 位置決めシートで取付穴位置をけがく
4. 排水ソケットの接着
5. 固定片・排水ソケットの取り付け
6. 水ためリング(白)の取り付け
7. 便器の取り付け
8. ウォシュレット本体の取り付け
9. シリコーン系シール材の塗布
10. 取り付け後の確認

動画を見る
施工手順
https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/move/202208_cs911_seko.htm

※大便器背面カバー(別売品)の取り付けは、大便器背面カバーに同梱の施工説明書をご参照ください。

施工手順

各部のなまえ



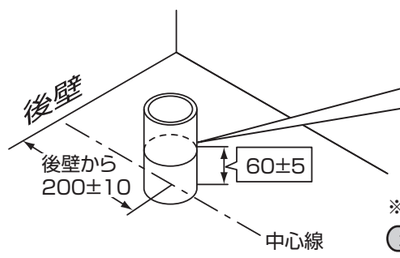
この説明書は床給水のイラストで説明しています。

取付方法

1 排水管の立ち上げ

(単位:mm)

排水管を所定の位置に取り出す。



カット
けがいて、輪ゴムなどで目安をつけるとカットしやすくなります。

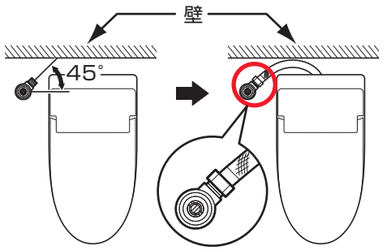
※排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去してください。
注意 排水管と床にすき間がある場合、防カビ性のシリコーン系シール材にて充てんしてください。
階下に水漏れが発生するおそれがあります。

2 止水栓の取り付け

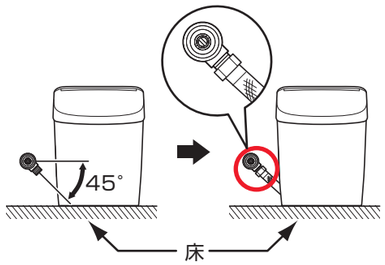
注意 製品同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

止水栓の給水取り出し方向と止水栓高さを確認して取り付けてください!

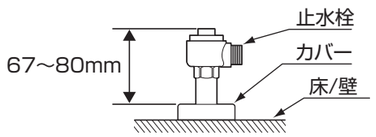
床給水の場合の止水栓取り出し方向



壁給水の場合の止水栓取り出し方向



止水栓高さ



⚠注意

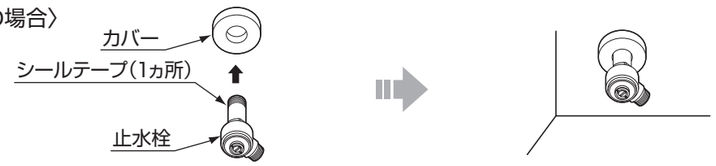
必ず実行

止水栓の給水取り出し方向を45°の範囲で取り付ける
誤った方向に取り付けると洗浄不良や水漏れのおそれがあります。
試運転後は接続部において水漏れしていないか確認する
取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

❶止水栓を取り付ける。

〈床給水の場合〉

〈壁給水の場合〉



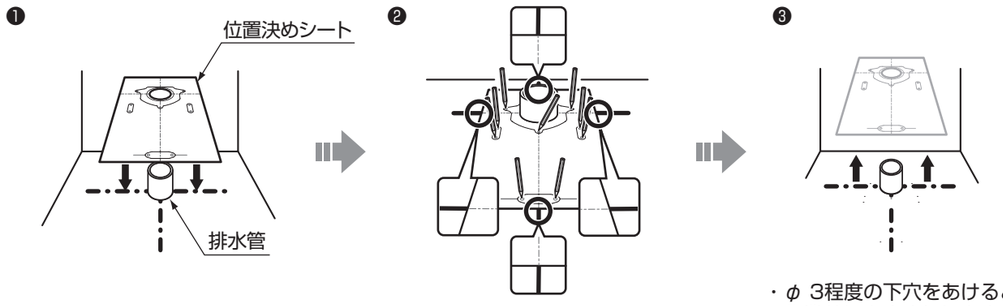
・ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。※取り付け時の際、止水栓の向きに気をつけてください。

動画を見る

止水栓の取り付け

https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/move/202208_cs911_shisuisen.htm

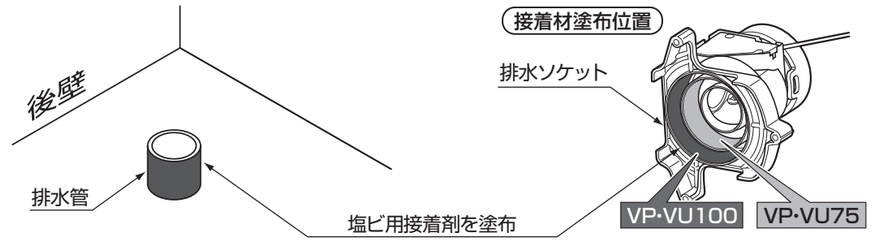
3 位置決めシートで取付穴位置をけがく



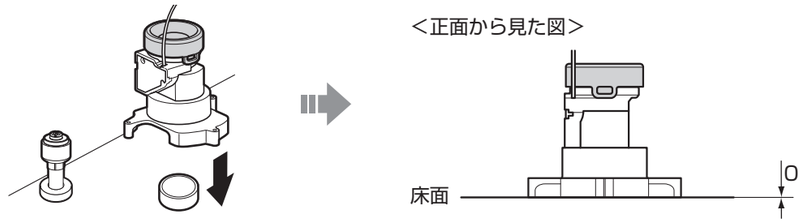
・φ 3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

4 排水ソケットの接着

❶排水ソケットの内周と排水管の外周に塩ビ用接着剤を塗る。
※排水管の種類によって塗布位置が異なります。



❷穴位置を参考に排水ソケットの前後を確認し、排水ソケットが床面につくまで排水管に押し込む。
※取り付ける際、床と排水ソケットでワイヤーを挟まないようにご注意ください。
※一度接着すると、手直しができませんのでご注意ください。



⚠注意

必ず実行

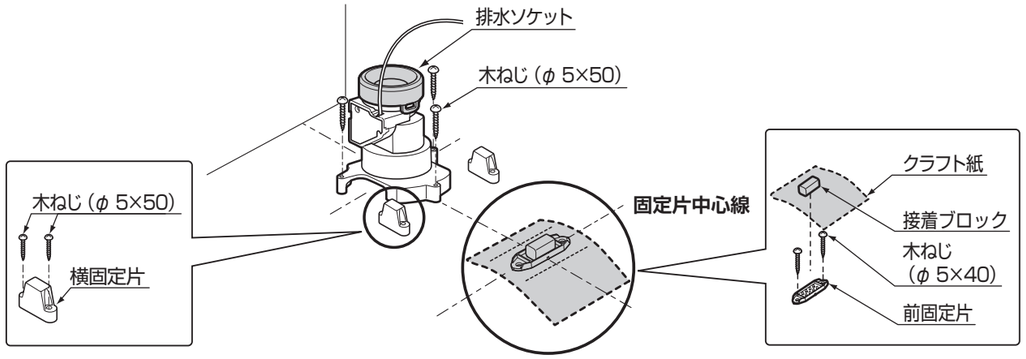
接着剤塗布位置を確認する
塗付位置を間違えると水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方に塗布する
片側のみ塗布した場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

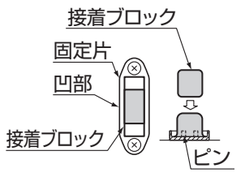
排水ソケットは下面が床面につくまで押し込む
押し込まない場合、排水ソケットの固定時に破損するおそれがあります。

5 固定片･排水ソケットの取り付け

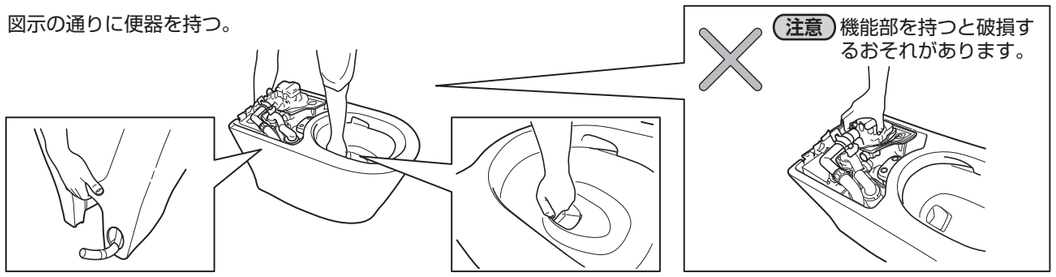
❶排水ソケットを木ねじで床（3カ所）に固定する。
❷横固定片を、木ねじで床（4カ所）に固定する。
❸前固定片を、木ねじで床（2カ所）に固定する。
❹前固定片に接着ブロック、クラフト紙の順に置き、指で軽く押して凹部のピンに差し込む。



＜接着ブロックについて＞
・施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を右図のように整えてください。
・接着ブロックの方向性は特にありません。
・気温が下がると接着ブロックが固くなることがあります。
　接着ブロックをあたためて柔らかくしてからご使用ください。
※詳細は、接着ブロック同梱の注意書をご参照ください。

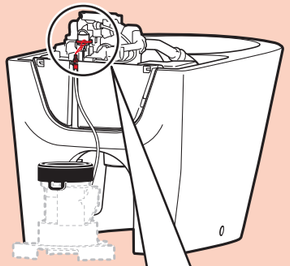


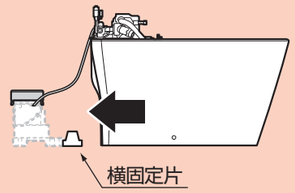
図示の通りに便器を持つ。



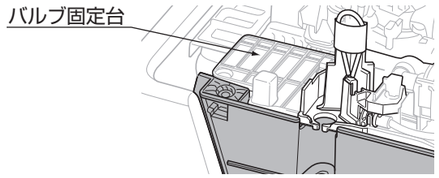
便器後方の開口部を持つ　　便器の排水穴を持つ

6 水ためリング（白）の取り付け ➡ 7 便器の取り付け





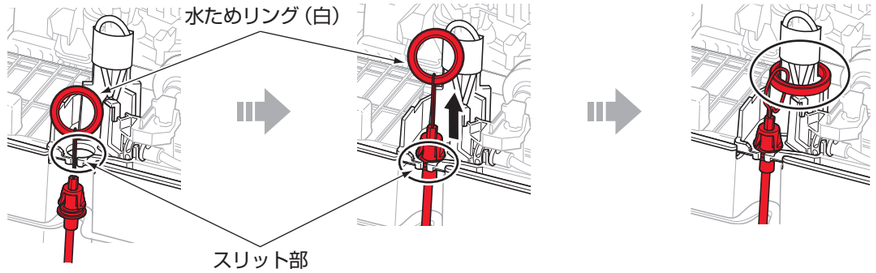
陶器後方を横固定片に近づけて陶器を仮置きし、
水ためリング（白）を固定してください。



❶バルブ固定台のスリット部に
水ためリング（白）の紐を通す。

❷水ためリング（白）を引張り
フック部を固定する。

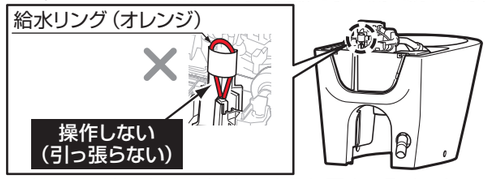
❸水ためリング（白）を
バルブ固定台に引っかける。



下記項目を確認後、■に✓してください

□ 取り付け後、水ためリング（白）が固定台から外れないことを確認しましたか

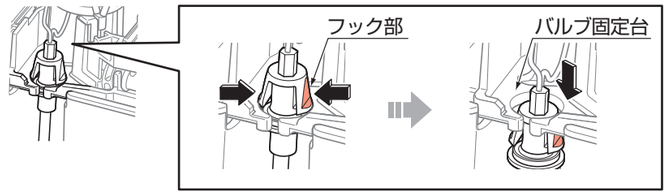
●停電時に使用する洗浄用のリングです。施工時は操作しない（引っ張らない）でください。試運転時、便器に水が流れ続ける原因となります。



給水リング（オレンジ）を止まる位置まで引くことで、
便器に水を「流す」と「止める」を切り替えています。

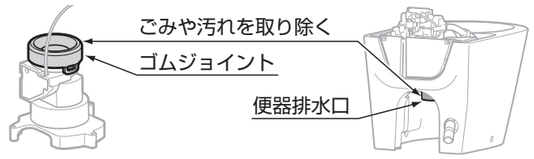
＜水ためリング（白）を取り外す場合＞

フック部をつまみながら下方に
押して、バルブ固定台から外す。

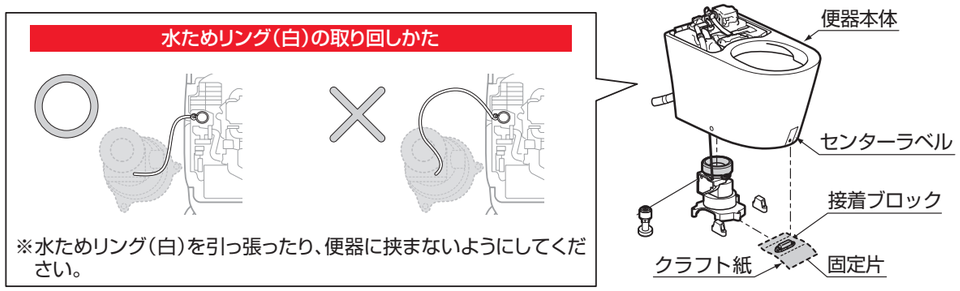


7 便器の取り付け

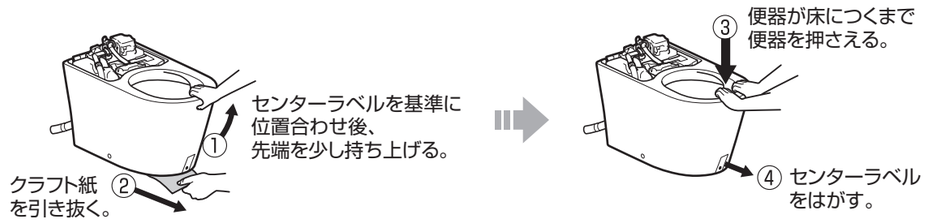
❶便器排水口および排水ソケットのゴムジョイントのごみや汚れを取り除く。



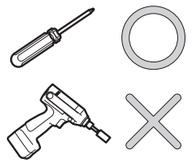
❷便器排水口を排水ソケットに差し込む。
・目安として便器部後方と壁のすき間が10～15 mmを目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
※壁に傷がつかないように差し込んでください。
・壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。



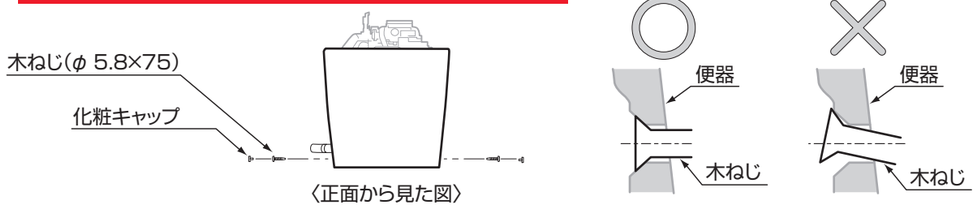
❸



❹便器の取付穴（2カ所）をねじで固定し、化粧キャップを取り付ける。
※ねじを確実に締めてください。
注意 ねじを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



ねじは床面と平行に締めてください。
斜めに締め込むと、化粧キャップが浮き上がってしまいます。

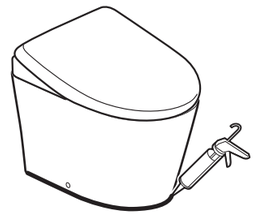


8 ウォシュレット本体の取り付け

ウォシュレットを便器に置いて、コネクターを接続する直前にコネクターのテープを剥がしてください。
※取付方法・操作方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書をご参照ください。

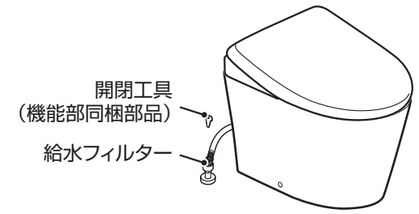
9 シリコーン系シール材の塗布

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコーン系シール材を塗布することをおすすめいたします。

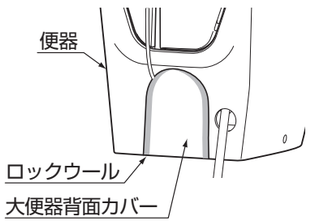


10 取り付け後の確認

- 試運転（洗浄）後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などがないことを確認してください。陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社商品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ（コーキング剤、配管用接着剤など）が付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。
- 試運転後はすべての接続部において水漏れしていないか確認してください。
  取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 試運転後、必ず止水栓を閉じて給水フィルターを「掃除」してください。
  ※機能部に付属の開閉工具で給水フィルターを外して、掃除してください。
  ※フィルターの掃除後、忘れず止水栓を開けてください。



- 止水栓に止水栓カバーが取り付いていることを確認してください。
- 大便器背面カバーを取り付けた場合、下記注意事項を確認してください。



⚠注意

必ず実行

・ロックウールと便器の間にすき間がないか確認する。
・ロックウールに破れがないか確認する。
すき間・破れがある場合は市販のアルミガラスクロステープで補修する。
すき間が生じると防火区画対応不備になるおそれがあります。また、便器の差し込み不足によりすき間から水漏れするおそれがあります。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。